

基礎数理第 13 回 (2004-01-26)

問 13.1 $m \times m$ 行列

$$J(\lambda, m) = \begin{bmatrix} \lambda & 1 & & \\ & \ddots & \ddots & \\ & & \lambda & 1 \\ & & & \lambda \end{bmatrix}$$

の固有値を求めよ。また、その固有値の代数的重複度と幾何学的重複度を求めよ。

(答) 特性多項式を計算すると、 $\det(xI - J(\lambda, m)) = (x - \lambda)^m$ なので、 $J(\lambda, m)$ の固有値は λ である。また、固有値 λ の代数的重複度は m である。一方、 $\dim(\ker(J(\lambda, m) - \lambda I)) = m - \text{rank}(J(\lambda, m) - \lambda I) = m - (m - 1) = 1$ なので、固有値 λ の幾何学的重複度は 1 である。

問 13.2

$$A = \begin{bmatrix} \lambda & 1 & 0 \\ 0 & \lambda & 1 \\ 0 & 0 & \lambda \end{bmatrix}$$

のとき、 $\frac{dx}{dt} = Ax$ の解の形を調べよ。

(答) $x_3(t) = x_3(0)e^{\lambda t}$, $x_2(t) = (x_3(0)t + x_2(0))e^{\lambda t}$, $x_1(t) = (\frac{x_3(0)}{2}t^2 + x_2(0)t + x_1(0))e^{\lambda t}$ のように、 t の多項式と指数関数の積になる。

問 13.3

$$\min_{x \neq 0} \frac{\|Ax\|}{\|x\|} \neq 0 \iff A \text{ の列ベクトルが線形独立,}$$

を示せ。

(答) 任意の $x (\neq 0)$ に対し、 $\frac{\|Ax\|}{\|x\|} \neq 0 \iff \|Ax\| \neq 0 \iff Ax \neq 0$ であるから、 $\min_{x \neq 0} \frac{\|Ax\|}{\|x\|} \neq 0$ は、 $Ax = 0 \iff x = 0$ と同値である。このとき、 A の各列ベクトルを A_i とおくと、 $\sum_i x_i A_i = 0 \iff x = 0$ となり、これは A の列ベクトルが線形独立であることに他ならない。

問 13.4 $\text{rank}(A^T A) = \text{rank}(A)$ を示せ。

(答) $m \times n$ 行列 A の階数を r とすると、適当な正則行列 U が存在し、 $AU^{-1} = \begin{bmatrix} B & O \end{bmatrix}$ となる。ただし、 B は列ベクトルが一次独立な $m \times r$ 行列である。このとき、 $A^T A =$

$U^T \begin{bmatrix} B^T B & O \\ O & O \end{bmatrix} U$ なので, $r \times r$ 行列 $B^T B$ が正則であることを示せばよい. $B^T B$ が正則であることは, $B^T Bx = 0 \Leftrightarrow x = 0$ と同値である. B の列ベクトルは独立であるから $Bx = 0 \Rightarrow x = 0$ が成り立つ. すると, $B^T Bx = 0 \Rightarrow x^T B^T Bx = 0 \Rightarrow \|Bx\|^2 = 0 \Rightarrow Bx = 0$ であるから, $B^T Bx = 0 \Rightarrow x = 0$ が成り立つ. 逆に, $x = 0 \Rightarrow B^T Bx = 0$ は明らか.

(別解) $m \times n$ 行列 A の階数を r とすると, 適当な直交行列 U, V が存在し,

$$A = U \begin{bmatrix} \sigma_1 & & & & & \\ & \ddots & & & & \\ & & \sigma_r & & & \\ & & & 0 & & \\ & & & & \ddots & \\ & & & & & 0 \end{bmatrix} V^T \quad (\sigma_1, \dots, \sigma_r > 0)$$

のように特異値分解することができる. このとき,

$$A^T A = V \begin{bmatrix} \sigma_1^2 & & & & & \\ & \ddots & & & & \\ & & \sigma_r^2 & & & \\ & & & 0 & & \\ & & & & \ddots & \\ & & & & & 0 \end{bmatrix} V^T$$

となるので, $A^T A$ の階数は r である.

以上